

## 神奈川県内で“麻しん（はしか）”が流行しております

神奈川県衛生研究所のホームページの情報としては、2018年12月より麻しんの報告が続いており、県内では、2019年（第1週～第23週：～6月9日まで）累計報告数は73例（昨年1年間の発生数は6件）となっております。県内様々な地域で発生しており、直近では、第19週：8件、第20週：7件、第21週11件、第22週：11件、第23週：6件と終息の目途は立っておりません。

とくに、麻しんの遺伝子型は複数の種類が発生しており、国外に多い型であることから、海外の渡航先で感染し、帰国後発生する「輸入症例」も発生要因のひとつと考えられ、また今年の5月の大型連休において多くの方が国内外各地に旅行したことによって一層の流行を引き起こしたとも想定されます。

医療機関で働く皆様においては、麻しんの予防接種を2回受けていない場合や麻しんの未罹患の場合には、麻しんの患者様から感染する可能性があり、また、そこから患者様に感染させる可能性もありますので、体調の変化にご注意いただくとともに、MRワクチンの予防接種についても積極的にご検討いただくようお願い申し上げます。

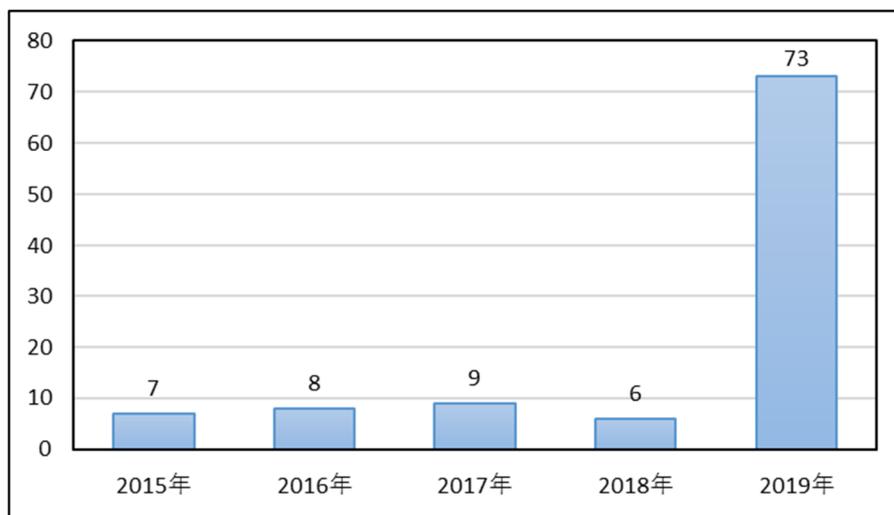
なお、医療機関においては、国立感染症研究所感染症疫学センターが作成した「医療機関での麻しん対応ガイドライン」をご参照の上、ご対応ください。

（[https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/guideline/medical\\_201805.pdf](https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/guideline/medical_201805.pdf)）

また、県内の最新の麻しんの状況については、神奈川県衛生研究所のホームページをご覧ください。

（[http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/003\\_center/03\\_center\\_main.htm](http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/003_center/03_center_main.htm)）

◎過去5年間の麻しん報告数の年次推移(2015年～2019年の第1週～第23週)



（上記データは神奈川県衛生研究所ホームページ参照の上作成）